事業者用自己評価シート

公表日　2026年11月12日

番号	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備					
1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1	利用児童数や活動内容に応じてスペースを工夫し、相談室等を学習に集中できる場や、落ち着いて過ごせる場として活用しています。	必要なスペースの基準は満たしていますが、お子さまの成長や体格の変化に伴い、活動スペースが狭く感じられる可能性があります。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	2	基準以上の職員を配置しており、職員間で連携し、状況に応じた柔軟な対応を心がけています。	お子さまの状況や活動内容によっては、対応が行き届かない場面もあります。職員間の連携や役割分担を工夫し、支援体制の充実を図ります。
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	4	机やいすの配置を工夫し、活動しやすい環境を整えています。また、スケジュールボードや掲示物を活用し、お子さまが活動内容や一日の流れを視覚的に理解できるよう配慮しています。	一般住宅を活用した施設のため、構造上、安全面での配慮が必要な箇所があります。今後も危険箇所の確認や環境整備を行い、安全に過ごせる環境づくりに努めます。
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1	お子さまの帰宅後に毎日清掃・消毒を行い、清潔な環境を保っています。また、利用するお子さまの特性などに応じ遊具を選定し、安心して過ごせる空間づくりに努めています。	お子さまの帰宅後に毎日清掃・消毒を行い、清潔な環境を保っています。また、利用するお子さまの特性などに応じ遊具を選定し、安心して過ごせる空間づくりに努めています。
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	9			
業務改善					
6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9			
7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	今年度初めて保護者向け評価表を実施し、保護者の皆さまの意向やご意見を把握する機会を設けました。いただいたご意見を今後の業務改善や支援の質の向上につなげていきます。	「いろどりラボ」での情報発信や、保護者参加型イベントの開催など、家族支援の充実に取り組んでいます。今後も保護者の皆さまのご意見を業務改善につなげていきます。

事業者用自己評価シート

番号	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
業務改善					
8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9			
9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	2	第三者による外部評価は実施していませんが、第三者委員会を開催し、外部の方からご意見や助言をいただく機会を設け、業務改善に活かしています。	第三者による外部評価は実施できていないため、今後は実施について検討するとともに、第三者委員会でいただいた意見を業務改善につなげていきます。
10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9			
適切な支援の提供					
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	9			
12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9			
13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9			
14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9			
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9			

事業者用自己評価シート

番号	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供					
16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9			
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9			
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9			
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	1	お子さま一人ひとりの発達状況や特性に応じて、就学に向けた学習や5領域に関する活動を取り入れ、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた支援を行っています。	お子さまの発達状況や支援ニーズの変化に応じて、個別活動と集団活動のバランスを見直し、より一人ひとりに適した支援の充実を図っていきます。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	1	毎朝、朝礼を実施し、その日の支援内容や役割分担を確認しています。朝礼に参加できない職員には、日報や口頭で情報を共有し、職員間の連携を図っています。	勤務時間の違いにより、情報共有に差が生じる可能性があります。今後も伝達方法を工夫し、全職員が共通認識を持って支援できるよう努めます。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	8	1	支援終了後には職員間で振り返りを行い、お子さまの様子や支援中の気付き、課題などを共有しています。情報を共有することで、翌日以降の支援に活かしています。	送迎や勤務時間の違いにより、全職員で振り返る時間の確保が難しい場合があります。今後も情報共有の方法を工夫し、支援の質の向上につなげていきます。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9			

事業者用自己評価シート

番号	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供					
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9			
関係機関や保護者との連携					
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9			
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9			
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9			
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	1	就学時の移行に向けて、サービス担当者会議に参加し、お子さまの発達状況や支援内容について関係機関と情報共有を行い、相互理解と連携を図っています。	就学先との直接的な情報共有の機会が限られているため、保護者や関係機関との連携を深め、円滑な就学につながる支援体制を整えていきます。
28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				

事業者用自己評価シート

番号	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携					
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	6	3	必要に応じて地域の児童発達支援センターと連携し、お子様への支援方法について相談や助言を受けながら、支援の質の向上に努めています。	児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じて助言を受けています。今後も継続して連携を深め、専門的な助言を日々の支援に活かしていきます。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	5	児童センターや公園への外出を通じて、地域の子どもたちと同じ場で遊んだり、交流したりする機会を設けています。	地域の子どもたちと同じ場で過ごす機会はありますが、直接的な交流は限られています。今後も外出活動を通じて、自然な交流の機会を増やしていきます。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	4	「いろどり通信」の「いろどりラボ」を通じて、子育てや発達支援に関する情報を発信しています。また、保護者参加型イベントを開催し、家族支援の充実に取り組んでいます。	家族支援プログラムや保護者向け研修の機会が十分ではないため、今後は保護者のニーズを把握し、関係機関の研修情報の提供や家族支援プログラムの開催を検討していきます。
保護者への説明等					
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	9			
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9			

事業者用自己評価シート

番号	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等					
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			
39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	3	11月3日に初めて保護者参加型イベントを開催し、保護者やきょうだいが一緒に楽しめる機会を設けました。家族同士の交流やつながりを深める取り組みを始めています。	保護者同士やきょうだい同士の交流を十分に促すことができなかったため、今後は交流しやすいゲームや共同活動を取り入れ、年1～2回程度の開催を検討していきます。
40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			
41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9			
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			
43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	3	児童センターや公園への外出、買い物支援などを通じて、地域の方々と関わる機会を設けています。地域とのつながりを大切にした支援に取り組んでいます。	地域住民を招いた行事の開催には至っていませんが、買い物支援などを通じた交流を継続し、今後も地域とのつながりを深める機会を増やしていきます。
非常時等の対応					
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1	事故防止、緊急時対応、防犯、感染症対応等の各種マニュアルを整備し、事務所内に保管しています。また、安全計画に基づき、発生を想定した訓練を計画的に実施しています。	周知方法を工夫するとともに、訓練や研修を通じて緊急時の対応力向上に努めていきます。

事業者用自己評価シート

番号	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
非常時等の対応					
46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9			
47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9			
48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	食物アレルギーのあるお子さまについては、アセスメント時に保護者からアレルギーの内容や必要な対応を確認し、安全に配慮した支援を行っています。	必要に応じて医師の指示書等による確認を検討し、より安全で適切な対応体制を整えていきます。
49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			
50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	9			
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9			
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	1		